



## ◆ 家具の固定を早急に!

南海トラフ大地震の予想震度は大阪市で

**震度6弱**

**強い揺れが2~3分(120~180秒)続く**

と想定されています

	阪神淡路大震災	大阪北部地震	能登半島地震
発生日時	1995年1月17日	2018年6月18日	2024年1月1日
大きさ (マグニチュード)	M7.3	M6.1	M7.6 M7.3
最大震度	7(大阪:4(6強))	7(大阪:6弱)	7(大阪:4)
大阪での 揺れ時間	20秒間	数秒間	30秒間

今までに経験したことのない長い激しい揺れが起こります

平時に揺れに対する準備を行いましょ!

生活している中で、最も多くいる場所は自宅。自宅でケガをしない環境を作るのが、はじめの一步。いつもいる場所の周りに、危険物はありませんか?周りの家具を確認してケガをしない環境を今から整えましょ。

大きな災害時にケガをしてしまうと病院にも行けず、きっちり処置ができる可能性は低くなり、より悪くなる可能性が大きいと考えられます。ケガをしない環境を今から気にしながら工夫するのが、今できる「**自助**」です。気になったらすぐ対処をして、ケガをしない環境を作りましょ。

### ○ 家具の固定

大阪市市民防災マニュアル P21、P22

<https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000011873.html>

### ○ 家具の固定を見直しましょ

**6弱**



**[震度6弱]**

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



耐震性が高い



耐震性が低い

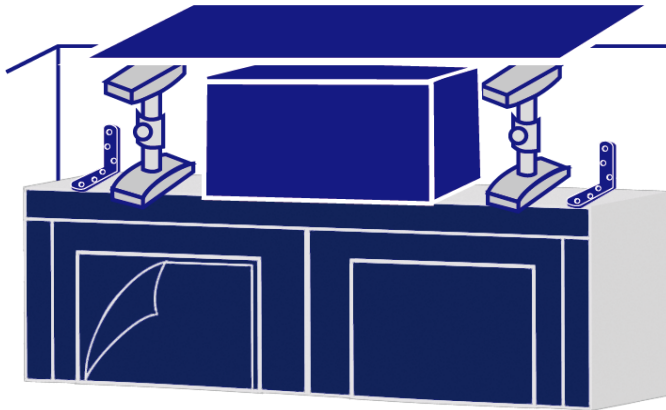
長く激しい揺れが起こると、家具等を十分に固定できず、倒れる危険性が高くなります

気象庁 震度について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/index.html>



◆ 家具の固定方法いろいろ



長い揺れには突っ張り棒だけでは不安

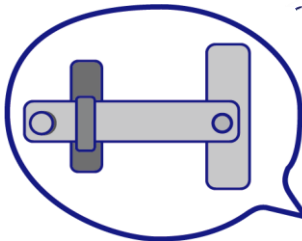
- ・突っ張り棒
- ・突っ張り棒と天井の間に板をはさむ  
(揺れで天井に穴が開かないように)
- ・厚めの段ボール箱を活用  
(揺れを面で押える効果)
- ・連結金具で固定

自宅でケガをしない為に、いまから準備しましょう!

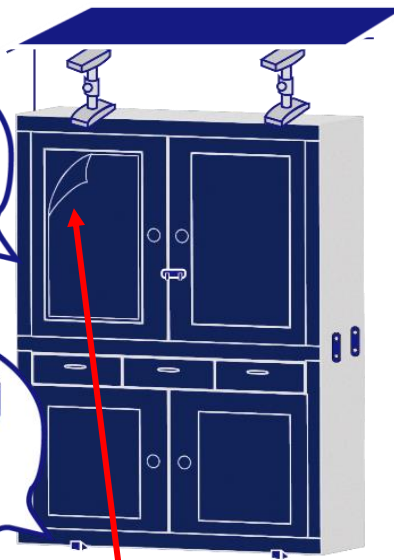
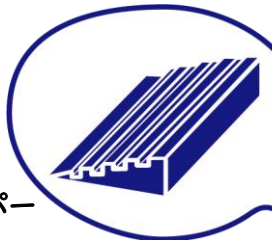
食器棚

突っ張り棒には板があるとGood!

扉ロック



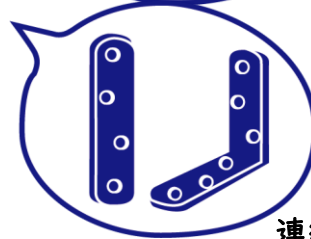
ストッパー



突っ張り棒

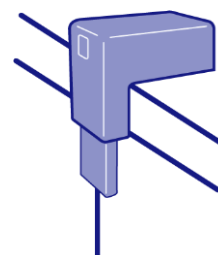
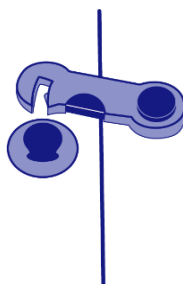
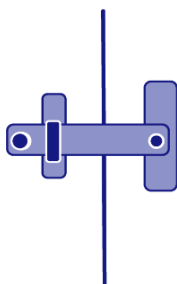


連結金具



ガラス飛散対策でフィルムを貼る

扉ロック各種

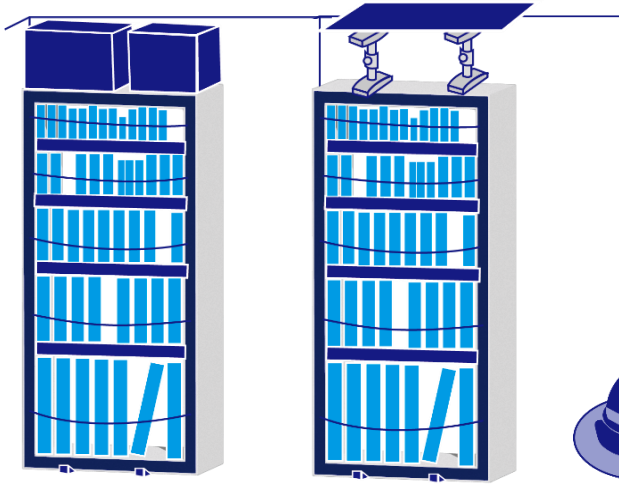




## ◆ 固定が必要な家具をチェック

本棚も同様に本が落ちてくるのを防止します

※低い本棚に変更する手もあります

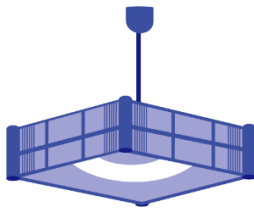


- ・重い本は下の段に集める
- ・突っ張り棒や厚手の段ボール
- ・ロープ
- ・滑り止めシート  
(本の下に敷く)
- ・ストッパー

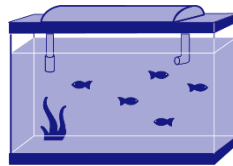


コマが付いている棚などにもストッパー

他にも固定が必要な物



ぶらぶら不安定な物



地震の揺れで水があふれる  
置場所により水槽自体が危ない



バランスが悪く倒れる危険大

● 家具を固定していないと下記の事が起こる可能性があります

- ・家具の下敷きになる
- ・逃げる時つまづいて転ぶ
- ・割れた食器やガラスでケガをする
- ・火災の原因になる
- ・火災などからの避難の障害になる
- ・家族の救助の支障となる
- ・被害を大きくする

もしも骨折をしたら...  
タンカで運び出す為に最低4人の助けが必要です  
4人集められない状況で津波が来るとなったらどうしますか?

### 自宅でケガをしない為に、いまから準備しましょう!

## ◆ 自宅の安全な場所は?

家の中で安全な場所は次の条件を満たしている場所とされています

- ・落下物や転倒物が少ない場所
  - ・窓が少なくガラスが飛び散らない場所
  - ・避難時に外に出やすい(閉じ込められない)場所
- 上記3つの場所はどこに当てはまるでしょうか?

### ● 落下物や転倒物が少ない場所

近年に発生した地震においても、負傷者の約30~50%が家具類の転倒・落下・移動によるというデータも出ています

### ● 窓が少なくガラスが飛び散らない場所

地震が起きたときのリスクとして意外と見落とされがちなのが、窓ガラスや食器棚などの「ガラス」による被害で、地震で窓や棚などのガラスやが割れると、体に刺さってけがをするだけでなく、移動のとき割れたガラスを踏んで足に刺さったり、割れたガラスを片付ける際に手指を傷つけてしまう恐れがあります

### ● 避難時に外に出やすい(閉じ込められない)場所

地震によってドアにゆがみが生じ、開けられなくなったり、ドア付近などに大きな家具類が倒れ、避難経路がふさがれてしまう危険性もあります

### ● 地震の時に「トイレ」は安全な場所?

トイレは空間が小さく取り囲む柱や壁などが短いため、他の部屋と比べると比較的頑丈だといえます  
ただし最近の住宅はトイレの場所も様々であり、昔のように必ずしも4本の柱に囲まれていないことも多々あります

### ● 地震の時に「玄関」は安全な場所?

玄関は構造的に柱が多いため、家の中でも比較的頑丈で倒壊しにくい場所とされています  
大きな家具が無く、ガラスによる被害も少ないといえます  
そして何より、ドアを開ければすぐに外へ避難できるという点も、地震が起きたときに玄関が安全と言われる理由のひとつです



安全な場所は、家具を固定しケガをしない環境を整え、地震がおさまったら出口の確保を心掛けましょう